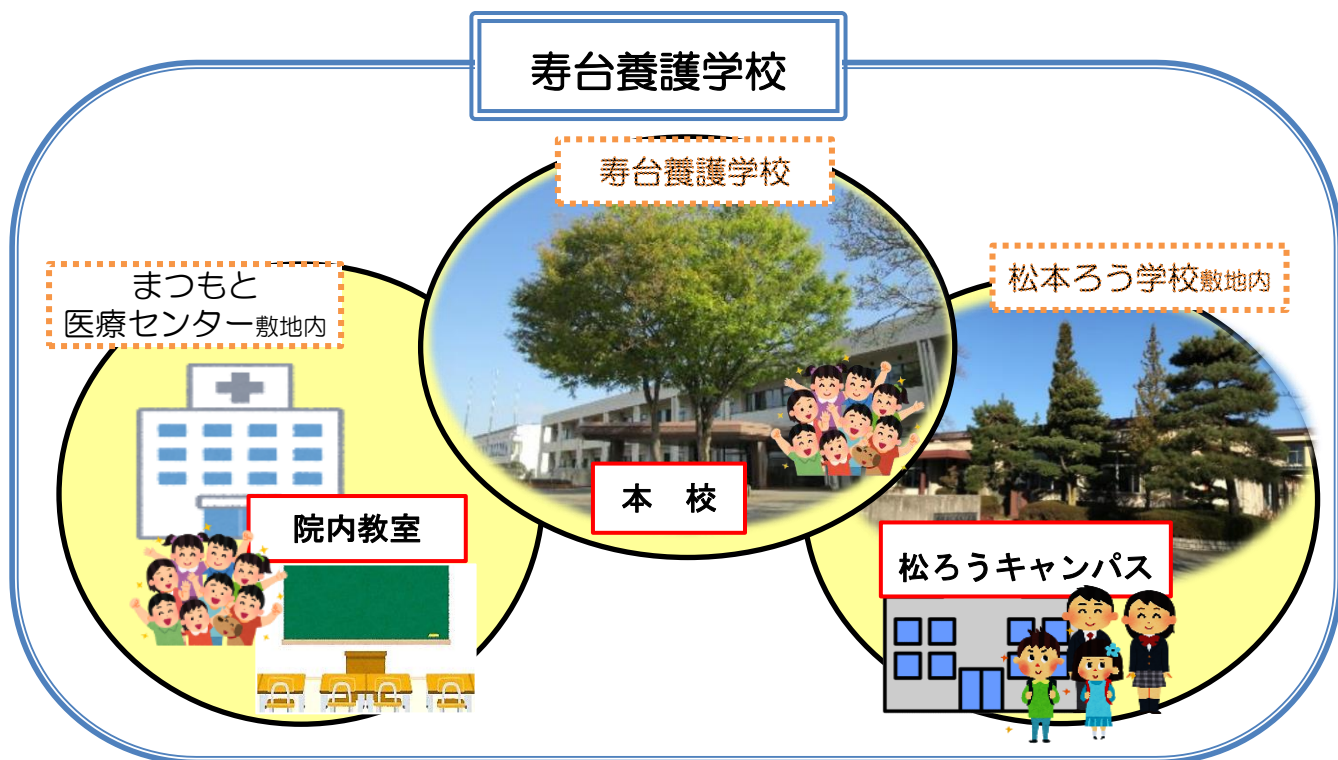


平成31年度



長野県寿台養護学校 学校要覧



校歌

作詞 丸山 昇
作曲 山崎 仰平

- 一、 西にアルプス 青い空
この美しい 里に生き
手をつなぎ はるかゆく手を 望んでいこう
そそり立つ そそり立つ 寿台に
- 二、 牛伏川に わたる風
この清しさを 身にうけて
胸をはり 生きるよろこび 歌っていこう
ゆるぎない ゆるぎない 寿台に
- 三、 豊かな心 かおる丘
この幸いの 輪をひろげ
まゆあげて 光の中を 進んでいこう
拓けゆく 拓けゆく 寿台に

〈校章〉

中央部は、子どもを表す純白で柔らかな若い芽である。この芽を支えているがくは手をかたどったもので、これは教育と医療、あるいは家庭や社会を表している。校章は、これらの温かい手につつまれた若い芽が、たくましく育つことへの願いをあらわす。がくをいろどる緑は、平和、愛情、温かさをあらわし、若い芽がこれを吸収して健やかに伸びるようにという祈りの象徴である。

【沿革】

- 昭和51年4月 松本市立明善小学校の特殊学級として、国立寿療養所の病棟内に重度・重複学級を1学級設置
- 52年4月 国立寿療養所を国立療養所東松本病院に改称
- 53年4月 開校式 長野県若槻養護学校東松本病院分室として6学級で授業開始
- 58年4月 長野県寿台養護学校開校
- 63年4月 高等部1年生9名を含め入学式
- 平成4年10月 開校10周年記念祝賀会を举行
- 10年4月 重度重複学級の高等部訪問教育開始
- 14年10月 開校20周年 記念式典举行
- 16年4月 通学生 受け入れ開始
- 17年4月 あゆみ部高等部過年度生入学
～29年3月まで四期実施
- 24年 開校30周年 記念事業 記念誌刊行
- 30年4月 知病併置の特別支援学校となる